



しながわ

第 65 号

社会福祉法人 佳松会
令和4年1月1日発行

SHINAGA OLYMPIC 2021



白熱の「風船ボールバレー」



SHINAGA OLYMPIC



しなが五輪2021開催



8月に東京オリンピックが開催され、猛暑の中で繰り広げられた様々な競技に感動し、特に日本人の活躍に一喜一憂されたことと思います。このようにスポーツを見たり参加することは、私達の心身のリフレッシュに良き刺激を与えています。

例年開催されていたスポーツフェスタ(長居競技場)、ナイスハート(府立体育会館)、ふれあい太子(町体育館)など利用者が参加できる大会がありましたが、感染しない事を優先し、大事を取って今年も参加を自粛しています。楽しみにしていた利用者の皆さんはがっかり。そこで、何とかスポーツを楽しんでいただこうと、9月下旬に手作りの「しなが五輪」を開催いたしました。中でも利用者の皆さんが一番楽しみにしていたのは「パン食い競争!」。吊るされたパンに向かって一直線に走り大きく口を開けてガブリ、美味しいパンをゲットし大喜びでした。

また「風船ボールバレー」は、中庭に大きなコートを作り、利用者・職員が男子チームと女子チームに分かれ、白熱した試合を展開。結果は男性2勝、女性2勝で引き分けとなりました。

コロナ禍で体を動かす機会が少なくなっていましたので、2日にわたり楽しく体を動かして心地よい汗を流す事が出来ました。



TOPIC!

パラリンピック採火式に参加!

一生の思い出になりました!

8月16日太子町の採火式が行われ、岡崎さんと生田支援員が参加しました。採火式とは、東京2020パラリンピックにおける聖火フェスティバルとして、各都道府県から集められた火を8月24日国立競技場の聖火台へ点火するというものです。

当日は、聖徳太子を祀る叡福寺から種火を頂戴し、町立総合福祉センターで町内の障害者団体や施設の代表の皆さんの参加で採火式が執り行われました。

参加者は厳かな空気に緊張した面持ちでそれぞれ自己紹介を行い、代表者の採火している姿を固唾を呑んで見守っていました。式が終わるとようやく笑顔に戻り、緊張が解けた様子でした。採火された火は、大阪府の火として一つにまとめられ、東京に送られたそうです。



AUTUMN FESTA

オータムフェスタ2021

雨天が続き今年はグラウンドで開催できるか心配していましたが、10月24日は朝から風もなくポカポカ陽気で、会場設営も密にならないよう椅子の配置を工夫するなど対策を取りながら順調に進み、昼食は旬の食材を使った季節感たっぷりのお弁当でお腹の準備もOK。

利用者の皆さんは久方ぶりに家族と会えてとても嬉しそうにされ、また保護者同士も久方ぶりの会話を楽しんでおられました。皆さんの期待を100%映したかのような快晴のもと、いよいよオータムフェスタ2021が始まりました。

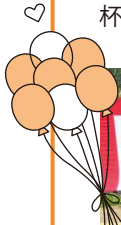
最初の出し物は猿回し。猿の『コウメちゃん』の支障物ジャンプ、逆立ち、2メートル近い高さの竹馬乗りなどの演技に皆さん大拍手。コウメちゃん、最後は深くお礼して感謝のポーズで終了。

続いては、とんとん相撲とさつまいも掘りにグループ分け。とんとん相撲はグラウンドに2か所、畳で土俵を作り、段ボールで作った『ゴジラ力士』や『カッパ力士』などの対戦に、利用者、家族の皆さんがまるで自身が相撲している気分で土俵を一杯トントン踏みつけていました。



また、グラウンドの一角を畑にし、様々な野菜を植え、皆さんで水やり、草引きなど丹精込めて育ててきました。さつまいもが大分大きくなっていましたので、皆さん軍手にショベルをもって芋掘りに挑戦。「これ大きいな」とか「○○君、ここにあるで」などの言葉が飛び交い、嬉しさがマスク越しに伝わってきました。

今回は、地元の関本さんが育てられた大輪の菊十数点が展示され、受付ブースを華やかに飾っていただき、大変ありがとうございました。恒例の抽選会も一喜一憂しながら盛り上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎ、無事閉会式を迎えました。



牛串1本
お願いしますー!



おいしいよ!
楽しいよ!



ごちそう行事!

好天に恵まれた11月1日、保護者会の御厚意によるごちそう行事を行いました。朝から、中庭に日除けのタープを開き、密にならないよう机や椅子を準備し、玄関前にはキッチンカー2台が並び、中庭の軒先には屋台が設置されました。ぽかぽか陽気の中、利用者の皆さん、食券を持ってステーキ、ハンバーガー、喫茶などそれぞれの店の前に並び、熱々の食事をゆっくり楽しんでおられました。「おかわり!」の声もありましたが、残念ながら…。皆さんの笑顔が見られて大満足の昼食会になりました。



ウマイ!!

おいしいよー!





栄養士のささやき

今年は利用者さんの体重の増・減に細かく注意を払い、健康体の維持増進のため栄養管理に力を入れています。コロナ禍で帰宅や外出がままならず、家族と会えないストレスが利用者の皆さんの心身に少なからず悪影響を与え、食欲が落ちたり偏食が強まったりと今までにない課題に向き合う場面が多かったと感じています。利用者さん一人ひとりのケース検討会にも参加して支援員・看護師と情報を共有し、また利用者さんともコミュニケーションを取りながら食事の改善に向けて取り組んできました。皆さんの大好きな「食べる楽しみ」を提供しながら健康・栄養管理に取り組んでいきたいと思ひます。



副主任のささやき

例年がない秋の長雨のおかげで広い敷地は雑草が伸び放題になっていました。10月下旬の行事に向け、まずグラウンドから草刈りを始めました。広いグラウンドは行事には大変使いやすいのですが、いざ草刈りとなると大変です。草刈り機の重さや雑草の多さ、更にマスク着用による息苦しさはもう限界。心が折れそうになりました。

グラウンドの次は、その周りの草刈りです。数日に分けて行い、ようやく終わりが見え「あともう少し!」とやっと気持ちが軽くなり、改めて見通しが立つ事の大切さを教えてくれた草刈りでした。

他施設への応援

2月下旬に6日間ほど他施設にて、利用者の方と関わらせて頂く機会を頂きました。これは大阪府と大社協が結んだ「社会福祉施設等への応援職員派遣事業」に基づき近隣施設に派遣されたものです。

同じ障がい者施設であるからこそ、緊張と不安もありましたが、当該施設の職員さんは大変な状況にもかかわらず丁寧に教えていただき、安心して作業が出来ました。短い期間ではありましたが、今回経験し、学び、感じた事を、今後の利用者支援に活かしてこそ意味のある事だと捉えて日々頑張りたいと思ひます。

PS・懐かしい顔も見ることが出来て、とても良かったです。

地域で自分らしい生活

2町1村(河南町、太子町、千早赤阪村)の在宅障害者の様々な相談に対応する中で、最近では地域の福祉サービスも少しずつ充実している事から地域での生活を選択されている方が増えるなど様々な生活スタイルが見られます。

住み慣れた地域で生活し続ける事で、いよいよ介護保険の利用対象となられた場合、必要なサービスを受けながら希望する生活が送れるように制度の分野(障害福祉・介護保険)を問わず地域でサポートする関係者が集まってチームを作り、支えていく事が大切だと実感しています。



この度、コロナ禍で沈んだ気持ちを明るい気持ちにできるような機関紙を目指してデザインを一転しました。読者が待ってましたと思ってくださるような記事や内容にしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

広報担当：松田

社会福祉法人 佳松会

http://kashokai.jp/

- 科長の郷**
障害者支援施設(生活介護)
短期入所事業・日中一時支援事業
- しながの舎**
共同生活援助(グループホーム)

ホームページは
こちらから



- 生活支援相談室しなが**
基幹相談支援・計画相談支援
地域相談支援(地域移行・地域定着)・障害児相談支援

篤志御礼<7月~10月>

敬称略・順不同

寄贈物品

近畿環境サービス、コンフィア、春日薬局、三栄基準寝具、光福寺、奥田歯科医院、テラカド、出崎工業、なにやや、肉の松阪、太子学園、望田昭博、上原秀夫、今崎英治、片山昌子、大羽達郎、荻野有希、荻野浩則、岩田元夫、増田清、上田千由紀、坂上一成、藤田照子、牧悦子、三尾倫美、翠田収、葉山保樹、舌間章二、田鍋由香、安田博樹、古藤捷二、萩原健久、関本幸男、阪本正次

寄付金

科長の郷保護者会、上田美代子、岩田元夫、辻元邦昭、米田昭、中山崇、猪倉厚、富田晶子、上田恭敏